



守り続ける上小原小学校の伝統

「朝の自主トレ」活動



上小原小学校の児童は体力づくりのために毎朝10分間、校庭を走ります。僕は10周を目標に友達と一緒に走っています。毎日走ると体力がつくので12月の持久走大会がとても楽しみです。また、児童全員で毎朝一緒に走れることも魅力の一つです。これまで上小原小学校を卒業した先輩たちが何十年も続けてきた「朝の自主トレーニング」という伝統を守り、誇りを持って僕たちも続けていきたいと思っています。

輝け！ ジュウダイ



上小原小学校



紹介してくれるのは

上小原小学校
たけなか ゆうま
竹中 悠真 さん(6年生)

いつも元気な明るい性格でバレーボールスポーツ少年団に所属している。運動が大好きで好きな科目は体育。陸上記録会では走り幅跳びとリレーに出場した。児童会の総務委員会でも大活躍中。

当組合は、シキミやヒサカキなど神事に用いられる枝を生産・出荷する生産者の組合です。私は前述の2つにサカキを加えた3種を栽培しています。枝物と聞いてイメージが湧かない人も多いと思いますが、年間を通して安定して出荷できるものです。生産を始めるにあたってはトラクターやハウスなど大きな資機材も必要ありません。一方で、定植から出荷できるまでに3〜5年かかることは課題の1つだと思います。

農産物を作る人は同じだと思いますが、良いものを作り、買った人が「きれいだね」と言ってくれて喜んでいたのが一番うれ

おしごとの時間

鹿屋で暮らす・働く



鳥丸さんの職場

かのや枝物生産組合(旭原町)
【事業内容】枝物の生産・出荷
【設立】平成26年【組合員数】7人

しいです。枝物の生産は地味な作業かもしれませんが、高齢者でも気軽に雇用する仕組みや枝物生産を始めやすくする方法を考え、地域で協力し合える産業を目指して頑張りたいと思います。



地元の産業として 定着できれば

かのや枝物生産組合
とりまる ひとし
鳥丸 等 さん(65歳/入組5年目)

定年後に枝物の生産を開始。以前は他の生産者の視察によく行っていたが、近頃はなかなか行けていない。父母とともに生産・出荷の作業を行っている。